
西南支部ニュースレター（46号）

2016年11月10日

<内 容>

1. 2016年度支部例会開催のお知らせ
 2. 2016年度支部総会開催のお知らせ
 3. 2016年度支部役員
-

1. 2016年度支部例会開催のお知らせ

2016年度支部例会として、水産海洋学会と共催して、以下のとおり、九州沖縄地区合同シンポジウムを開催します。

2016年度 九州沖縄地区合同シンポジウム
(日本海洋学会西南支部・水産海洋学会合同シンポジウム)

「九州沖縄地区における現場海洋観測とその連携研究」

コンピーナー：中村啓彦（鹿大水），滝川哲太郎（長崎大院水産・環境）
小針統（鹿大水），加古真一郎（鹿大理工）

日 時：2016年12月9日（金）9:30～16:30

場 所：鹿児島大学附属図書館 水産学部分館 セミナー室 ※水産学部の敷地内にあります
(鹿児島市下荒田4-50-20, 問合せ 099-286-4140 小針)

<http://www.fish.kagoshima-u.ac.jp/access/>

<プログラム>

09:30 開会の挨拶：日本海洋学会西南支部長 山城徹（鹿児島大）

09:35 趣旨説明：滝川哲太郎（長崎大院水産・環境）

座長：滝川哲太郎

【基調講演】

09:40 東シナ海陸棚域における学際的・国際的共同観測

松野健(九大応力研)，吉川裕(京大院理)，遠藤貴洋(東大海洋アライアンス)

石坂丞二(名大 ISEE)，張勁(富山大理)，武田重信・梅澤有(長崎大院水産・環境)

Lee Jae Hak (KIOST)，Meixun Zhao(中国海洋大)

【話題】

10:20 トカラ海峡周辺域における低次生態系の時空間変動

吉江直樹・中川美和・武藤玲央(愛媛大沿岸セ)，小針統(鹿大水産)

郭新宇(愛媛大沿岸セ)

10:40 一休憩一

- 10:50 黒潮横断観測による動物プランクトン群集の海域間比較
近藤玲央・小針統(鹿大水産), 岡崎雄二・宮本洋臣(水産機構)
- 11:10 北部薩南海域における動物プランクトン群集の変動特性
山崎朱音・小針統・遠藤有紀・久米元(鹿大水産)
- 11:30 2015年から2016年のノリ漁期における有明海の高潮位とその要因
種子田雄・藤吉栄次・玉城泉也・吉村拓(水産機構西水研)
- 11:50 一昼休み(日本海洋学会西南支部総会)――
- 座長：加古真一郎
- 13:10 複数衛星を用いた全球海上風ベクトルデータセットの構築とその有用性の検証
寺田雄貴・加古真一郎(鹿大院理工), 高山勝巳(九大応力研), 富田裕之(名大 ISEE)
日原勉(JAMSTEC), 轡田邦夫・久保田雅久(東海大海洋)
- 13:30 潮流が励起する不安定による河川プリュームの制御機構
――tidal plumeの観測と非静力モデリング――
岩中祐一(九大総理工), 磯辺篤彦(九大応力研)
- 13:50 ウェブカメラ観測と粒子追跡モデルを組み合わせた米国西岸における
3.11 震災漂流物の漂流量推定
岩崎慎介・磯辺篤彦(九大応力研), 加古真一郎(鹿大院理工), 片岡智哉(東京理科大)
油布圭(九大応力研)
- 14:10 一休憩――
- 14:20 九州北部海域における沿岸漁業のスマート化
広瀬直毅(九大応力研・九州北部スマート漁業コンソーシアム代表)
- 14:40 長崎県水産試験場が行う情報提供の取り組みと今後の展望
高木信夫(長崎水試)
- 15:00 宮崎県水産試験場の海況情報提供の取り組み
渡慶次力(宮崎水試)
- 15:20 一休憩――
- 座長：小針統
- 15:30 対馬海域における動物プランクトン群集の変動特性
本間大賀・小針統・兒玉聡伸(鹿大水産), 滝川哲太郎(長崎大院水産・環境)
渡辺俊輝(山口水研セ), 山田東也(水産機構西水研)
- 15:50 流動場とプランクトン分布――山陰沖遠距離海洋レーダ海域における物理・生物観測――
滝川哲太郎(長崎大院水産・環境), 小針統(鹿大水産), 森本昭彦(愛媛大沿岸セ)
渡辺俊輝(山口水研セ), 杉谷茂夫・岩井宏徳(NICT), 久島萌人(名大 ISEE)
藤井智史(琉大工), 市川香(九大応力研), 雨谷純(NICT), 山田東也(水産機構西水研)
- 16:10 【総合討論】
- 16:30 一閉会――

【開催趣旨】

大学や官庁・試験研究機関では、練習船・調査船等を用いた海洋観測や、海洋レーダ等のリモートセンシング、定期フェリー・定点観測等の海洋環境モニタリングを行っている。しかし、これらの機関が、必ずしも連携して観測を行っているとは限らない。本シンポジウムでは、これらの観測の現状を把握するとともに、水産、海洋エネルギー、海洋プラスチック汚染問題等に関する今後の連携研究の可能性を考える。さらに、物理―化学―生物学にまたがる横断研究、数値モデルを組み合わせた研究にも着目する。

黒潮は東シナ海から九州南方のトカラ海峡を通過し太平洋の日本南岸を流れる。対馬暖流は、東シナ海から対馬海峡を通過し日本海へ流入する。そして、これらの海流は、低緯度から高緯度へ様々な物質を運んでいる。運ばれる物質には、栄養塩・プランクトン・卵仔稚魚が含まれており、流動場などの海洋物理研究と化学・生物学および水産学との連携研究が望まれる。一方、漁業者の立場からは、安定かつ効率的に漁獲物を得るために、より現実的な漁海況予測の構築・情報提供が望まれている。同様に、海洋エネルギーや海洋プラスチック汚染問題の分野においても、現実的な海況予測に基づく効果的な政策立案が望まれており、行政と大学・試験研究機関等による分野横断的な連携研究が必要である。このようなニーズに応えるためには、時空間的に密な現場観測データを同化した数値モデルが必要となってくる。このような背景から、本シンポジウムを通じて、現場海洋観測とコラボレーションした様々な連携研究が進展・強化されることを期待したい。

問い合わせ先：

〒852-8521 長崎市文教町 1-14 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

滝川哲太郎

電話：095-819-2810

E-mail: tetu' at' nagasaki-u. ac. jp ⇒' at' を@に変換してください。

2. 2016 年度支部総会開催のお知らせ

以下の予定で 2016 年度の西南支部総会を開催いたしますので、参加くださいますようお願いいたします。

1. 開催場所 鹿児島大学附属図書館 水産学部分館 セミナー室（合同シンポジウム会場と同じ）
2. 開催日時 2016 年 12 月 9 日（金） 12：30～13：00（合同シンポジウムの昼食時）
3. 報告
 - 1) 2016 年度事業報告 2) 会計報告 3) その他
4. 議題
 - 1) 2017 年度支部役員 2) 2017 年度事業計画 3) その他

3. 2016 年度支部役員(支部長, 副支部長, 幹事)

支部長：山城 徹（鹿児島大学）

副支部長：宮地邦明（水産大学校・名誉教授）

事務担当幹事：中村啓彦（鹿児島大学）

水産海洋学会担当幹事：山田東也（西海区水研）

平成 28 年度例会担当幹事：中村啓彦（鹿児島大学）

4. 後記

鹿児島大学で事務局をお引き受けしてから、今年度で4年が立ち任期満了となります。来年度から事務局は九州大学へ移りますのでご承知ください。事務局の役割は、年1回、支部例会として合同シンポジウムの開催を後押しすることです。この4年間の支部例会は、佐賀大学、琉球大学、長崎大学で開催され、そして今年は鹿児島大学が担当します。お世話を頂いたシンポジウムの主催者の方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。海洋学会は、来年度以降、春季大会を単独で実施することをやめ、関連分野との連携強化を目指して日本地球惑星科学連合の大会（5月下旬）の中で実施する計画です。このような動向の中で、西南地区（山口県、九州7県、沖縄県）の海洋学会関係者に多様な研究発表の場を提供するために、西南支部の活動も見直す必要が出てくるかもしれません。次期事務局の九州大学の方々に、うまく舵を取って頂き、西南支部の活動が有意義に展開されてゆくことを願っています。

本ニュースレターは支部会員および西日本海洋調査技術連絡会会員機関へお送りしています。本支部は西南地区（山口県、九州7県、沖縄県）の海洋学の進歩普及を図ることを目的として海洋学会内に発足した組織ですが、地区内に在住しない方でも、海洋学会に所属しない方でも入会できます。お近くに、西南支部への入会を希望される方がおられましたら、ご連絡ください。今のところ、海洋学会の会員名

簿を利用して、新規に西南地区へ加入・転入された方へは自動的に、また、地区外へ転出された方へも継続的にニュースレターをお送りしています。

(事務局：中村啓彦)

本ニュースレターに関するご意見や投稿したい情報等がありましたら、下記へお知らせ下さい。

日本海洋学会西南支部事務局
鹿児島大学水産学部（中村啓彦）
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
電話：099-286-4100（直通） Fax：099-286-4015（総務係）
E-mail：nakamura@fish.kagoshima-u.ac.jp

日本海洋学会西南支部ホームページ
<http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/oed/swb/swb.html>